

有斐閣『未来へ繋ぐ災害対策:科学と政治と社会の協働のために』  
出版記念シンポジウム

主催:早稲田大学レジリエンス研究所(WRRI)

後援:早稲田大学アジア太平洋研究センター(WIAPS)

日時:2022年12月26日(月)15:00-17:30

会場:早稲田大学19号館7階713会議室+オンライン(Zoom)  
早稲田大学早稲田キャンパスマップ

<https://www.waseda.jp/inst/diversity/support/accessibility-map/>

参加申込:ご所属・お名前を書いたメールを、事務局の朱さんへお送りください。Zoomアドレスなどをご案内します。zhuyu624@fuji.waseda.jp

プログラム:

司会:渡部一樹(有斐閣編集部)

15:00-15:10:本書の編集にあたって考えたこと

松岡俊二(早稲田大学大学院アジア太平洋研究科・教授)

15:10-16:00:書評コメント(各10分)

工藤尚悟(国際教養大学・准教授)

三上直之(北海道大学高等教育推進機構・准教授)(イギリスから参加)

武藤香織(東京大学医科学研究所・教授)

矢守克也(京都大学防災研究所・教授)

宇野朗子(U.Lab Japan)

16:00-16:15:執筆者からのリプライ(各5分)

藤原広行(防災科学技術研究所マルチハザードリスク評価研究部門・部門長)

寺本 剛(中央大学理工学部・教授)

寿楽浩太(東京電機大学工学部・教授)

(休憩10分)

16:25-17:30:総合討論

松岡 → コメンテーター5名 → 執筆者 → コメンテーター5名

\*本シンポの記録は有斐閣の雑誌『書齋の窓』などへ掲載します。

The image shows the front cover of the book '未来へ繋ぐ災害対策:科学と政治と社会の協働のために' (Future Disaster Response: For the sake of collaboration between science, politics, and society). The cover features an illustration of a classroom or meeting with people around a table. Text on the cover includes the title, authors (松岡俊二, 坂本真由美, 寿楽浩太, 寺本 剛, 秋光信佳), ISBN (9784641134751), and CIP (C1040 92800E). Below the cover is a yellow banner with the text: '専門家と市民と行政は「本当に大事なことをなぜ話し合おうとしないのか」' (Why don't experts, citizens, and administration talk about what really matters?). The banner also includes a small text box: '科学と政治と社会が協働して「対話の場」＝「学びの場」を形成し、異論があったとしても、お互いに納得しうる有効な災害対策を導き出すことができるのか——' (Can science, politics, and society form a 'dialogue space' = 'learning space' through collaboration, and even with different opinions, can they derive effective disaster response measures that everyone can be satisfied with?).